

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

社是

幸せな食文化の創造を掲げ、お客様と社会・地域への感謝を忘れず新たなチャレンジを継続

店舗数
46店舗

② 中長期の経営戦略

1. 飲食事業の正常化

地域特性や顧客ニーズに応じた販売促進強化と既存店舗の高収益化を推進

3. メディカル事業参入

事業構造改革として美容クリニック事業支援を含むヘルスケア事業に参入

2. 再生可能エネルギー事業展開

脱炭素・低炭素社会実現へ向け、日本国内の太陽光発電事業とネパール水力発電事業に参入

4. 人材投資の重視

戦略的事業投資と人件費に経営資源を集中し、中長期的な安定経営を実現

③ 対処すべき課題

① 財務体質の健全化

- ・ 2022年3月の臨時株主総会決議による資金調達を活用し既存店業態転換と新規出店を実施

② 経営管理体制の強化

- ・ コーポレート・ガバナンス向上に取り組み意思決定の明確化と組織体制最適化を推進
- ・ 全従業員への継続的なコンプライアンス啓蒙・教育実施

③ 営業基盤の立て直し

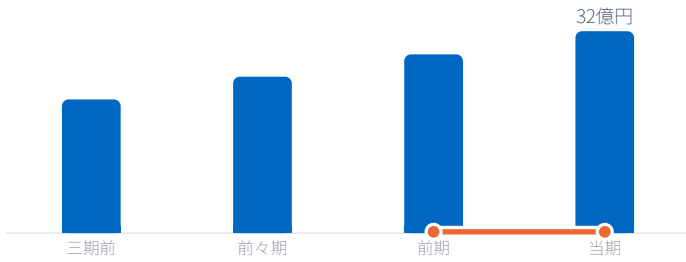
- ・ 46店舗のうち20店舗が居酒屋業態「新時代」。テレワーク普及など生活様式変化に対応
- ・ デリバリー・テイクアウト・ランチタイム導入など顧客ニーズへの迅速対応
- ・ 立地特性に応じたメニュー開発と接客サービス向上で収益力底上げ

面接で使えるポイント

- ・ 社是『幸せな食文化の創造』のもと、46店舗の飲食事業を通じお客様満足度向上を追求
- ・ ウクライナ情勢長期化や円安による厳しい環境で、太陽光発電やネパール水力発電事業への多角化展開
- ・ 人を最重要経営資源と位置づけ、OJTとマネジメント研修で差別化の源泉となる人間力を育成

証券コード 3133

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
32億円営業利益率
▲45.6%財務健康度
7点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 31.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
400万円
小売業内 299位/318社平均年齢
38.9歳
小売業内 219位/318社平均勤続
3.0年
小売業内 307位/318社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 海帆（3133）、株主優待の廃止を発表し、夜間取引で31%超

